



講義・実習のタイトル	対象	講義・実習・公開講座の別	時間	出前講義申込団体・実施場所(小・中・高校名等)	依頼先(日本生理学会への依頼、所属大学・研究所等への依頼)	実施年月日	講師名	所属	その他報告事項(任意)
一夜漬けて効果あるの?	中学3年生	講義	70分	茨城高等学校・中学校 医学コース	日本生理学会	2019年12月21日	守本 祐司	防衛医科大学校 生理学講座	参加39名。熱心に聴いてくれた。
いのちの鼓動 —心臓・血管を探る、治す—	高校	講義	90分	茨城県 茨城高等学校	日本生理学会	2019年7月20日	南沢 享	東京慈恵会医科大学・細胞生理学講座	医療系に進学志望(医学コース)の高校1年生42人を対象として、心臓生理学について概説した後に、動脈管に関する私自身の研究を紹介した。そのなかで、出来るだけ専門的な話しに偏らず、医学研究が患者さんにどのように関わるかを話すよう心がけた。
眠くなるのはなぜ?	小学校	講義	45分	山梨県南都留郡富士河口湖町立勝山小学校	所属大学	2015年11月12日	鈴木 敦子	健康科学大学・健康科学部・理学療法学科	小学校5年生とその保護者約60人に、睡眠の仕組み、睡眠不足の弊害について解説し、夜更かしを防止する方法を紹介した。日常生活にすぐに役立つと、好評であった。
メタボリックシンドロームを知ろう	高校	出張キャンパス講義	50分	石川県立鹿西高校	所属大学	2015年9月16日	多久和 典子	石川県立看護大学健康科学講座	高校生を対象に、メタボリックシンドロームの成因、合併症、予防の必要性などについて講義を行った。
脳と心臓と腎臓	一般	市民大学校講義	90分	かほく市生涯学習課	所属大学	2015年5月15日	多久和 典子	石川県立看護大学健康科学講座	市民大学校受講生(一般市民)を対象に、脳と心臓を養う血管と心臓血管疾患・生活習慣病を中心に講義を行った。
甲状腺の機能と病気	高校	講義	60分	私立 常総学院高等学校	所属大学	2015年11月30日 (予定)	鯉淵 典之	群馬大学大学院 医学系研究科応用生理学	模擬授業と研究紹介をおこなう
乳がんの生物学	高校	講義	2時間	群馬県立 太田女子高校	所属大学	2015年11月12日 (予定)	鯉淵 典之	群馬大学大学院 医学系研究科応用生理学	模擬授業と研究紹介をおこなう
きみもはかせになってみよう	小学生	実験講座	2日間	群馬県等	所属講座	2015年8月7-8日	鯉淵 典之 天野 出月	群馬大学大学院 医学系研究科応用生理学	アガロース電気泳動装置を用いて小学生にDNAの電気泳動の実際を体験してもらい、研究マインドの涵養に努める。



講義・実習のタイトル	対象	講義・実習・公開講座の別	時間	出前講義申込団体・実施場所(小・中・高校名等)	依頼先(日本生理学会への依頼、所属大学・研究所等への依頼)	実施年月日	講師名	所属	その他報告事項(任意)
熱中症の原因・予防・対応	高校	講義	45分	群馬県立前橋商業高校	所属大学	2015年7月7日	鯉淵 典之	群馬大学大学院医学系研究科応用生理学	スポーツ活動の活発な高校からの依頼で、高校生対象として、夏に向けて熱中症の原因、予防と対応について講演した。
熱中症の理解と対応	保健教員	講義	90分	群馬県教育委員会	所属大学	2015年5月13日	鯉淵 典之	群馬大学大学院医学系研究科応用生理学	高校の養護教員を対象として、夏に向けて熱中症の原因と対応について講演した。
私たちはどうして物を見ることができるのか-新たに見つかった高次視覚野の階層的な機能構造	一般(高校理科教師)	講義	40分	石川県教育センター(理研BSI)	所属研究所	2015年8月25日	佐藤 多加之	理化学研究所 脳科学総合研究センター 脳統合機能研究チーム	8名の高校の理科教師と、3名の教育センター職員を対象に、私たちはどうして物を見ることができるのかについて、錯視など馴染み深い現象から最新の視覚生理学の知見を含めて話した。
細胞の機能をみてみよう	高校	講義実習	150分	香川県下の高校	所属大学	2015年8月1日	平野 勝也	香川大学医学部自律機能生理学	香川県にある医療系3大学が共同で実施している、高校のためのサイエンスキャンプの一環として実施した。香川県内の高校生6名が参加した。「細胞の機能を見てみよう」のテーマで、オリエンテーションを兼ねた細胞内カルシウムシグナルに関する講義と、Fura-2蛍光法を用いて血管内皮細胞の貯蔵部作動性カルシウム流入を観察した。
1 「生理学」ってどんな学問? 2 中枢性循環調節のメカニズム 一人を好きになったら、どうして胸がときめくの?ー	中学校	講義	50分	和歌山県立古佐田丘中学校	所属大学	2015年10月1日	前田 正信	和歌山県立医科大学・生理学第2講座	中学1年生約40人を対象として、医学部で教える基礎医学の講義の一端を紹介し、生理学とはどういう学問かを中枢性循環調節を例にして、わかりやすく解説した。尚、この中学校は、和歌山県立橋本高等学校に併設されている中高一貫教育校である。
1 医学部でどのようなことを学ぶのか?ー特に基礎医学を中心にー 2 「生理学」ってどんな学問? 3 中枢性循環調節一人を好きになったらどうして胸がときめくの?ー	高校	講義	90分	大阪府立生野高等学校	日本生理学会	2015年6月25日	前田 正信	和歌山県立医科大学・生理学第2講座	SSHの一環として、医学部志望の高校1・2年生 約50人を対象として、医学部で教える基礎医学の講義の一旦を紹介した。生理学が、病気を診断・治療するのに、非常に重要な学問であることを理解させた。そして、循環の中枢性調節のメカニズム、脳の高次機能と血圧・心拍数の調節が関与していることを話した。
脳と記憶の仕組み	高校	講義	90分	大阪府立岸和田高等学校	個人	2015年8月26日	小倉 明彦	大阪大学・大学院生命機能研究科	SSSの一環として、同校が毎年行っている特別講義。対象は主として高校2年生(一部1年生)。



講義・実習のタイトル	対象	講義・実習・公開講座の別	時間	出前講義申込団体・実施場所(小・中・高校名等)	依頼先(日本生理学会への依頼、所属大学・研究所等への依頼)	実施年月日	講師名	所属	その他報告事項(任意)
脳はどこまでわかったか	一版	講義	120分	メンタルケア協会	個人	2015年4月26日	小倉 明彦	大阪大学・大学院生命機能研究科	学校や施設などでメンタルケアカウンセリングを行う「精神対話士(民間資格)」の資格取得のためのスクーリングの一環。
教えて先生	一般	講義	60分	中沢会上毛病院・デイケア・きらら	個人	2015年4月25日、5月16日、6月27日	高鶴 裕介	群馬大学・大学院医学系研究科・応用生理学分野	主に精神疾患患者が通うリハビリ施設のプログラムの一部として実施(年4-6回程度)。基本的に、患者さんの質問をベースに医学・生理学の講義を行った。
平成27年度群馬県SSH等合同成果発表会(中間発表)	高校	指導助言	20分	群馬県教育委員会	個人への依頼	2015年9月19日	佐々木 努	群馬大学生体調節研究所代謝シグナル解析分野	850名の参加者の中、「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」、「中高生の科学部活動振興プログラム」などを実施している県内の高校生の研究成果と、「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」の取り組みに対し、指導助言を行いました。
仕事とは何か? --グローバルに活躍する理系研究者の視点から--	高校	講義	45分	群馬県立高崎女子高等学校	個人への依頼	2015年6月25日	佐々木 努	群馬大学生体調節研究所代謝シグナル解析分野	高校1年生全員(320名)へ、進路指導の一環として、理系と文系に関する講演会でお話しさせていただいた。 理系・文系という枠を超えて、進路及び仕事を選ぶうえで重要なこと、およびどんな分野でも成功するために必要な哲学を、高校生でもわかるように説明した。感想文の大半で、想定外の内容だが、非常に面白くためになるというコメントをいただけた。
ヒトはなぜ太るのか?	高校	講義	90分	群馬県立前橋女子高等学校	所属大学の所属部門	2015年1月10日	佐々木 努	群馬大学生体調節研究所代謝シグナル解析分野	SSHのコース希望者(高校1・2年生、合計約40名)に対し、脳がどのように食欲とエネルギー消費を制御しながら体重を調節するのか解説した。 また、おまけ「なぜ」の楽しみ方というタイトルで、進路選択の際に自分が情熱を傾けられることに取り組む重要性を話した。